

決算特別委員会各分科会における概要

【農林水産分科会】

- ◆10月21日（水）開会 午前10時00分
（休憩 午前10時55分～午前11時05分）
閉会 午後 0時08分
- ◆10月22日（木）開会 午前10時00分
（休憩 午前10時55分～午前11時05分）
閉会 午前11時46分
主 査 松田 敏男（県政クラブ）
副主査 五十嵐 智洋（自由民主党）
委 員 吉村 和武、加賀 正和、森谷 仙一郎、森田 廣
坂本 貴美雄

◆付託案件

- ・令和元年度山形県一般会計歳入歳出決算中 本分科会所管分
- ・令和元年度山形県農業改良資金特別会計歳入歳出決算
- ・令和元年度山形県沿岸漁業改善資金特別会計歳入歳出決算
- ・令和元年度山形県林業改善資金特別会計歳入歳出決算

◆審査内容

付託決算の審査にあたっては、農林水産部長から決算の概要及び主要な施策の成果と実績について、参事及び関係課長から内容の詳細について説明を聴取し、質疑を行った。

◆採 決

付託された4決算については、全員異議なく、いずれも認定すべきものと決定した。

（主に議論された項目）

- ◇県産農産物の輸出状況と今後の見通しについて。
- ◇県産牛肉の輸出拡大を図るための食肉処理施設の整備のあり方について。
- ◇内水面漁協等の老朽化した鮭ふ化施設の改修状況について。
- ◇施設の大規模改修に対しては、漁協等の厳しい経営状況も考慮し、県の支援も必要と考えるがどうか。
- ◇園芸産地の基盤強化を図るために整備した大規模集積団地の取組状況及び販売額拡大に向けた課題と今後の対応について。
- ◇主要都市の中央卸売市場における県産農産物の取扱金額の実績について。
- ◇取扱拡大に向け地方卸売市場への販路開拓にも取り組むべきと考えるがどうか。
- ◇『雪若丸』の販売拡大に向けた取組みと課題について。

- ◇県産種雄牛の作出状況について。
- ◇消費者の赤肉嗜好に対応した和牛の改良についても検討していくべきと考えるがどうか。
- ◇独立就農総合支援事業の詳細と事業実績及び新規就農者数の状況について。
- ◇民間施設の木造化率の状況及び県産木材の需要拡大に向けた今後の取組みについて。
- ◇今年七月に改築オープンした園芸農業研究所の施設・設備の整備状況について。
- ◇老朽化が進む他の農林水産関係試験研究施設の整備の必要性に対する監査委員の所感について。